

授業科目名	保育実習指導Ⅲ		担当教員名	入江 実
必修/選択	選択	開講学年・学期	3年 期間 (年間開講数 1講座)	
科目区分	教職・保育に関する科目	単位数	1単位 (15時間)	
施行規則に定める科目区分等	保育実習	授業方法/担当形態	演習 / 単独	
		特記事項	※実務経験のある教員等による授業 保育士として長年にわたる実務経験を活かして、具体的な実践記録を紹介して授業を行っている。	
授業の概要及び全体目標	「保育実習Ⅲ（施設実習2単位）」は、保育実習Ⅰの福祉施設実習の経験に基づいて、発達障がい施設の実習を中心に利用されている方の処遇や援助の方法並びに、記録の取り方などを学習し福祉の課題を考える。 【「保育実習指導Ⅱ」又は、「保育実習指導Ⅲ」の何れかを選択して履修する。】			
到達目標	実習体験が社会福祉の専門領域をより深く理解する方法の一つとなるように、事前学習での知識的援助と事後指導での体験整理を通して自己覚知に到るように個別・集団援助を展開し専門家になるための自覚を促したい。 (1)保育実習の意義と目的を理解し、保育について総合的に理解する。 (2)実習や既習の教科目の内容やその関連性を踏まえ、保育の実践力を習得する。 (3)保育の観察、記録及び自己評価等を踏まえた保育の改善について、実践や事例を通して理解する。 (4)保育士の専門性と職業倫理について理解する。 (5)実習の事後指導を通して、実習の総括と自己評価を行い、保育に対する課題や認識を明確にする			
テキスト	「実習ハンドブック」大阪教育福祉専門学校編著			
参考書・参考資料等	特になし			
成績評価の方法	○レポート提出等：35% ○定期試験：65%			
授業計画	授業の内容			到達目標番号
第1回	事前指導① 実習の進め方			
第2回	事前指導② 障がい児(者)施設			
第3回	事前指導③ 社会福祉施設			
第4回	事前指導④ 実習記録の記入について 保育用語確認			
第5回	事後指導① 社会福祉施設①			
第6回	事後指導② 社会福祉施設②			
第7回	事後指導③			
第8回	事後指導④			
定期試験	レポート提出			